



## 宝塚さざんか福祉会法人理念

法人は、利用者一人ひとりの想いを大切にし、これを共有し、その想いが実現できるよう支援します。

職員は、職業人としての自覚を持ち、自らの資質の向上を図り、豊かな人間性の醸成に努めます。

法人は、地域と共に暮らし、地域と共に活動し、地域のコミュニティ発展に寄与します。

## Contents

理事長挨拶	2P
仮移転後のめふプラザの様子について	3P
上半期事業実施内容・研修について	4・5P
法人職員紹介(永年勤続表彰該当者)	6・7P
各事業所の様子(4月～10月)／編集後記	8P

## コロナ禍を乗り越えて、 利用者支援の充実を目指しましょう。

理事長 松井 美弥子

令和3年度の上半期は、新型コロナウイルスへの感染予防・防止が最優先の日々でしたが、利用者の皆様やご家族等のご協力と職員の皆様の日々の篤い努力のお蔭で、緊急事態宣言が何度も発令されましたが無事に過ごせております。

ワクチンの集団接種につきましては、宝塚市と協議して障害のある方専用の会場と日時を確保いただき、保護者等の同伴を条件に希望された方への接種を9月6日から9月17日の間に1回目を、その各3週間後に2回目の接種を実施し、完了いたしました。

接種会場へは、各施設の職員が応援に参りましたが、利用者の皆様は、整然と接種を受けて下さって感激いたしました。又、接種後の大きな不調者もなく安堵致しました。ご家族、法人職員、医療関係者、行政関係者の皆様の感染予防へのご努力には敬服と感謝申し上げます。

事業としては、「宝塚めふプラザ」が「かしの木工房 こはま」の敷地内隣に無事移転いたしました。利用者の皆様は7月26日より、自宅からの通所経路の異なる場所にスムーズに通所されて、新しい環境にも馴染んで頂けて安堵しております。

また、「宝塚めふプラザ」の施設建設費用として、宝塚市手をつなぐ育成会様より700万円と宝塚さざんか福祉会後援会様より300万円のご寄付の御協力を頂きました。「宝塚めふプラザ」の建物は公的助成も補助金もない中での建設でしたので、ご寄付は大変ありがたく感謝申し上げます。

権利擁護・虐待防止への取り組みとしては、数年前より「第三者委員会」の必要性の認識をもって検討しておりましたが、一般的に行われている専門家等が評論をされるだけの「第三者委員会」では、真の解決にはならないとの考えをもとに、外部の識者にも参加して頂く「検証・改善第三者委員会」を、令和3年3月の理事会で承認を頂き設置いたしました。6月25日には第1回を開催いたしました。現場支援の向上や人権等への意識改革等、ご助言等を頂きながら、様々な課題等を一緒に検討いただけるものと大きな手ごたえがありました。

今後とも法人の安定運営の為に、職員の皆様の篤い使命感に信頼と期待をしております。ご家族の皆様には引き続き温かく見守って応援を賜ります様よろしくお願い申し上げます。

令和3年10月15日

## 仮移転後のめふプラザの様子について

今年度利用者・職員一団で協力して準備に取り掛かった、かしの木工房こはま横への新建物への仮移転が完了し、令和3年7月26日、新めふプラザとして無事スタートする事ができました。

開所初日は緊張した表情の皆さんでしたが、約2か月経過した現在では、生き活きして過ごされておられます。以前よりスペースは狭くなりましたが、毎日試行錯誤しながら、工夫していく事で、明るく楽しいめふプラザが戻ってきています。

このように無事新たな場所で開所できたのも、何より現場の職員全員が日常の業務を行いながら並行して、荷物の整理や移転後の準備等、本当に良く頑張ってくれたおかげだと感じています。又、保護者の方々も新たな場所への移転は不安のある中、温かいご理解とご協力を頂きまして感謝しております。今後は、旧めふプラザの時と同様、職員一同協力して毎日笑顔溢れる事業作りを目指していきます。又、お近くへお越しの際は是非お立ち寄りください。

令和3年 9月末日 宝塚めふプラザ 所長 山本 正一



## 利用者さんへインタビュー



Mさん (女性)

1. 給食が美味しい。外の景色が良いです (六甲の山並みが見える)
2. 今のところ、特にありません。
3. お出かけがしたいです (みんなでバーベキュー大会)
4. 織り作業で、複雑な模様が入ったものを織ってみたいです。

Sさん (女性)

1. 自席が広がった事と、給食が美味しい事です。
2. 友達との交流で時々しんどくなる時があります。
3. みんなとどこでも良いので、お出かけがしたいです。
4. めふプラザで最近購入してもらったフィットネスバイクの運動を頑張ります。



## 宝塚さざんか福祉会事業実施内容・研修について

### 検証・改善委員会の取り組みについて

検証・改善委員会は、各事業所からの事故やケガ、苦情などの報告を収集・分析し、不適切な支援や虐待の芽につながらないための防止策や改善策を共有する目的で、令和2年度に設置されました。

具体的な取り組みとしては、①年度初めに虐待防止対応マニュアル・身体的拘束等適正化のための指針の読み合わせ、各事業所での研修実施の確認、②障害者週間(12月)に合わせて虐待防止チェックリストの実施、実施後の振り返りの確認、③事故報告書を分析し、再発防止策も含めて具体的な改善策についての検討、④各事業所でのKYT(危険予知トレーニング)研修の奨励、職員の危険予知能力を高める取り組みを実施していきます。

次年度から虐待の防止のための対策を検討する委員会設置が法制度として義務化されます。今後も利用者の安全と人権擁護の観点から事故防止、虐待防止等の取り組みについて広く検証し、改善につなげることができるようにしていきます。

検証・改善委員会 委員長 谷口 篤

### 経営計画推進委員会の取り組みについて

宝塚さざんか福祉会では、平成25年から平成31年にかけて「今後3年から5年の間に優先的に取り組む施策」をとりまとめ、当該計画に基づき各種事業に取り組んでまいりました。これが宝塚さざんか福祉会の第1期目の行動計画になります。

そして令和2年に『第2期社会福祉法人宝塚さざんか福祉会行動計画』を立ち上げ、令和2年度から令和6年度にかけて取り組むことをとりまとめました。第2期宝塚さざんか福祉会行動計画では、現場ニーズの中から課題を改めて集約し優先される課題を抽出して具体的な解決に向けての3つの重点課題を示しました。

なお重点課題は①個別支援計画に基づいた支援の確立②送迎サービスの見直し③事業所役割の明確化となっております。

経営計画推進委員会では、この3つの重点課題について調査を行い、仕組みなどを作っていく作業を関係する委員会等と一緒に進めており、行動計画が推進出来るように検討する委員会です。

行動計画は5カ年計画で宝塚さざんか福祉会の重要な計画でもあります。福祉会の全職員で行動計画が推進され、法人理念の実現に繋いでいきたいと思っております。

経営計画推進委員会 委員長 脇田 幸治

### 助成金等を活用した事業所の取り組みについて

兵庫県の「令和2年度障害福祉分野のICT導入モデル事業」に選ばれ、いきいき宝夢館内のWi-Fi環境を整えることができました。ウェブ環境のセッティングがスムーズになり、スタッフルームではなく、フロアで記録を打つことができるので、利用者の方から目を離す時間が少なくなりました。ケーブルに足を引っ掛けてしまうといったトラブルもありません。

昨年から新型コロナウイルス蔓延防止で利用者の方々の帰宅が難しくなったため、現在はWeb会議アプリを活用し、オンライン面会で交流の機会を持ってもらっています。PCを通して嬉しそうにご家族とやり取りをされる方もいれば、顔や声を確認されるとすぐに席を立たれる方もいらっしゃいますが、どんな形でもお互いの安心につながる取り組みになっていると思います。

支援員としては、グループウェアの活用によって、事務所にメンバーが集まって連絡会などをする必要がなくなり、情報共有が文字や写真で目に見える形で行われるようになりました。スケジュールやタスクの管理、資料の閲覧などもPCなどを使ってできるようになり、業務の効率化が進んでいます。

今後も利用者の方々が暮らしやすく、支援員が働きやすい環境づくりをICTの導入でバックアップしていきたいと思っております。

※ICTとはInformation and Communication Technology、意味は「情報通信技術」です。身近な例で説明すると、SNS上でのやり取りやメールでのコミュニケーションも該当します。ネット通販やチャット等、人同士のコミュニケーションを手助けする事もICTの活用事例に該当します。

いきいき宝夢 主任・サービス管理責任者  
大西 僚太

### 職員研修について

法人では、研修内容を充実させることで、支援者一人ひとりの支援の質を向上させ、適切な支援につなげていきます。今年度は、新型コロナウイルスの感染状況に応じて実施形態を検討し、オンライン研修も取り入れて開催いたしました。

#### ブラッシュアップ研修(オンライン)

実施日/6月10日~6月24日 YouTube配信  
テーマ/「成長マインドセットの視点」  
講師/宮崎泰生氏(社会福祉法人明桜会 統括管理者)  
目的/現場を様々な意味で運営していくために必要な知識や技術などを身に付ける。  
会議や運営に必要なファシリテーションを学び身に付ける。



#### スキルアップ研修(対面)

実施日/7月9日  
テーマ/「障害者ケアマネジメント~実践スキル向上のためのヒント②~」  
講師/島祐貴氏(社会福祉法人 福成会 部長)  
目的/日頃の業務を振り返りながら、インクルーシブ社会について学び、さらなる実践スキル向上のための学びを深める。



#### ファースト研修(対面)

実施日/7月16日 テーマ/「はじめの一歩」  
講師/今西則行氏  
(社会福祉法人 宝塚さざんか福祉会 常務理事)  
目的/社会福祉における障害福祉領域の基礎知識、実践の魅力や対人援助従業者として重要な内容を学ぶ。





勤続25年

質問事項

- 1 名前
- 2 事業所名(職名・役職名)
- 3 趣味
- 4 法人職員としてこれまでに印象に残っていること
- 5 仕事を続ける上でのモチベーション
- 6 後輩職員へ一言

1 溝田 康英

2 かしの木工房こはま 所長

3 コーヒーを淹れて飲むこと・たまにお酒を飲む  
あること・ゴルフ・モノづくり

4 あしたば園にいた時、ひとりの利用者さんと、乾燥糸こんにやくの袋入れをしていて、それまでは職員が広げている袋の中にポトンと落していたのを、休憩時、入れやすいように袋の向きを調整して置いていたら、初めて自分で袋を持って自力で作業してくれました。その一部始終をそのフロアの職員と利用者が見守っていて、出来た瞬間に、みんなで拍手をして褒めたたえた時に、ひとりの人の「出来た」をみんなで喜べる、ここはこんなに素晴らしい職場なんだ、と価値観が大きく変わった事です。

5 支えてくれる家族がいること。がんばろうと思える刺激をくれる同僚や後輩がいること。休みを使って、たまにフラッと遊びに行き、自分の時間を持つこと。

6 この仕事は、人の幸せの為に自分の力を活かせる仕事だと思います。困っている人に寄り添い、一緒に考えて、乗り越えるきっかけを作ります。困りごとが楽になったとき、ありがたうと言ってもらえ、お給料までもらえます。こんな嬉しい仕事は他にはないと思います。



# 法人職員紹介

ほんの少し(?)  
若かりし頃

1 木村 孝一

2 宝塚さざんかの家  
車両管理担当

3 家庭菜園・昭和の演  
芸の懐古  
(昔の音曲漫才など  
をネットで見つけて  
は楽しんでます)

4 勤務した25年間に業界事情が様変わりして、法人の看板は同じでも中身がだいぶ違ってきたなあと感じます。

5 適度な緊張を心掛けています。この歳になると途切れると終わってしまいそうな気がします。

6 世の中が不透明ですが、自分のビジョンを持ってほしいと思います。そして日々完全燃焼(炎上じゃなくて)しましょう。



1 大西 悠子

2 宝塚めふプラザ 生活支援員

3 カラオケ(久しぶりに思い切り歌いたい。)ロードバイクで琵琶湖一周に挑戦したい。おいしいコーヒーを飲むこと。アウトドア(焚火を眺めて癒されること。)

4 さざんかの家から現在のめふプラザに異動したこと。所変われば品変わるではないですが、事業所によってカラー、考え方、培われた風土があります。当初は戸惑いや一から覚える事の大変さもありましたが、新しい価値観や経験により支援員としての視野が広がりました。人事異動は成長できるチャンスだと捉えています。

5 利用者と一緒に成長できることです。支援員として同じような価値観や志を持った仲間が存在がある事で、しんどい時も気持ちを切り替えて乗り越えられました。自分の発言や行動によって、周りにいる利用者や職員にポジティブな影響を与えられたと実感できた時です。

6 毎日の業務お疲れ様です。目の前にいる利用者の方と向き合い真剣に考える(妥協せず)姿勢を続けていると、数年後必ず支援員としての引き出しが増え、自分の中で得意とする支援スタイルの軸ができると思います。カッコイイ支援員を目指して一緒にがんばりましょう!



勤続10年

1 高島 弘司

2 いきいき宝夢 生活支援員

3 ガーデニング・トレッキング

4 高齢の利用者の方が増えたことです。以前はご自身の身の回りのことを行っていたため、作業や活動の面で個別支援を行っていた方が、生活環境や健康面での個別支援へと変わってきており、楽しく生活できているのか考えさせられます。

5 毎日同じようなスケジュールで生活されている中でも利用者の方々の小さな変化を見つけていくことです。表情やしぐさの変化から、興味を示すものが増やせたり、未然に問題を防ぐことができたりと変化を見逃さないことが次につながります。気づけない時は自分に余裕が無い時だと感じています。

6 日々の個別支援を重視するほど忘れがちになりますが、身だしなみを整えてもらうことや清潔な環境で過ごしていただくことなど、利用者の方の普通の生活も大切にしたいと考えています。



勤続5年

1 村田 宏樹

2 さざんかグループホーム  
生活支援員

3 野球観戦、温泉・銭湯巡り

4 色々ありますがやはり入社初日の2016年4月1日でホームの利用者さんのことも支援の仕方分からない中、先輩職員の方のアドバイスを聞きながら支援を行い1日目が何事もなく無事終了したこと、その時の緊張感が今でも印象に残っています。

5 休日に予定を入れること 休日の充実度が仕事の上でのモチベーションになります。

6 皆さんは貴重な「人材」です。私は福祉の世界では5年目の若輩者ですが他業種での経験などさざんか福祉会の「財産」でもある皆さんの色々力になれるように「人材育成」のアドバイスが出来ればと思っています。お互いに頑張りましょう!



1 三神 文恵

2 総務課 事務員

3 朱印集めで色々な所へ行き、美味しいものを食べる

4 事務員という仕事なので、利用者の方と接する機会は少ないのですが、入社してすぐに「三神さん!」と名前でも呼んでもらえた事!

5 しっかり働いてしっかり遊ぶ!

6 大変な事や、悩む事、しんどい事もたくさんあると思いますが、一人で抱え込まずに周りの人達に相談してください。みんなが支えてくれます!



1 木水 典子

2 いきいき宝夢 管理栄養士

3 文房具収集・フラワーアレンジメント

4 2019年に宝塚給食施設研究会といきいき宝夢が合同で行った緊急時食事提供訓練です。宝塚市内の病院や施設の方々がいきいき宝夢に来られて大掛かりな訓練となりましたが、無事にやり遂げられた事が自信となり、ここから先の仕事に対する向き合い方の転機にもなりました。

5 休日はしっかり休みます。

6 前向きな意見や提案はどんどん先輩職員にしてみてください。先輩職員はしっかり話を聞いてアドバイスしてくれるはず。私もそんな先輩職員の一になりたいと思っています。



1 原田 涼平

2 かしの木工房こはま 主任

3 野球(草野球チームに加入)・音楽(ギター)・映画鑑賞

4 あしたば園・ワークプラザ宝塚・かしの木工房こはま・けやきの里へ異動し現在かしの木工房に戻って仕事をさせて頂いていますが、多くの利用者方と関わる機会を頂いたこと、また、様々な職員と一緒に仕事できた事は、どこにいた時のことも印象強く、今の自分にとって欠かせない貴重な経験だったと思います。

5 一緒に働いている仲間といかに楽しく仕事ができるかを考えること。また、家族との時間を大切に楽しくもって生活すること。

6 色々悩んでしまうこともあると思いますが、必ず解決する方法が見つかります。一人で抱え込まず、一緒に考え・悩みながら楽しく仕事ができるように共に頑張っていきたいと思います。



1 岸部 留美

2 宝塚くるみの里 生活支援員

3 美味しい物を食べる事

4 私が4年前異動で、さざんかの家からくるみの里になった時にさざんかの家のある利用者さんが、私に手紙と手作りのビーズのプレスレットを作ってくれた事です。すごく嬉しくて今でも大切に持っています。

5 職員同士の助け合いと利用者さんの笑顔

6 一人で頑張りすぎない事



1 岸本 朋子

2 相談支援センターだんぼ 相談員

3 おいしいごはんを食べること

4 他市から引っ越してさざんか福祉会に入り、宝塚市では女性が役職につかれている事業所がたくさんあったので驚いたのが第一印象として残っています。

5 仕事とプライベートの切り替えスイッチを持ち、何事も楽しむこと。2歳娘が「バナナくだちやい〜」とせがんでくるので、それに癒され、次の日も頑張れます。(週に3房、今日も買いに走ります)

6 こんなにも色々な感情を発見できる仕事は他にはないと思います。利用者の方と向き立って、一緒にその方の想いを汲み取っていきましょう。



## 令和3年度の法人永年勤続表彰対象者

勤続25年	2名	勤続20年	1名
勤続15年	1名	勤続10年	7名
勤続5年	10名	計	21名

# 各事業所の様子 (4月～10月)

芋ほり



かき氷会



お楽しみ活動



スカイパークお出かけ



たこ焼きパーティー



創作活動



ハロウィンパーティー



秋祭り



楽器演奏



焼き肉パーティー



マグネット作り



宝塚さぜんか福祉会

検索

詳細は法人HPをご覧ください。

## 編集後記

- 今回、中堅職員インタビュー記事を盛り込みました。中堅職員の立場と役割は組織の中でも大変大きくなってきます。新任職員やその他の職員にとって良い刺激になればと考えています。(片山 翼)
- 今号は、7月に発行したSasanQua通信vol.4との連動記事として、上半期の事業や研修の内容を掲載しました。また、普段なかなか相互交流の機会がない、色々な事業所・職種の中堅職員にスポットライトを当ててインタビューさせて頂きました。法人のリアルタイムな取り組みの様子や、実際に働いている職員の顔等、多くの方に見て楽しんで頂ける広報誌を目指して今後も頑張ります。(山川 温子)
- 今回も多くの方のいろいろな思いが掲載されています。こういったことがざっくばらんにみんなで語らせる日が早く戻ってくることを切に願っています。(大西 僚太)
- 法人の取り組みや中堅職員のインタビューなど内容の濃い広報誌に仕上がったかと思います。様々なアイデアを出し合い、法人の見える化を目指した広報誌作りに努めていきます。(阪口 麻紀)
- 今年度より広報・啓発プロジェクトを担当させて頂くこととなりました。法人の事業計画や研修計画、新人・中堅職員紹介等広報誌を通じて、いろんな方々に法人の事を知ってもらえるように、今後も努めていきます。(稲月 康泰)